

放課後等デイサービス自己評価表

令和 7年 1月 21日

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係は適切であるか	<input type="radio"/>			スペースは余裕をもって確保できている。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			多めに配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			<input type="radio"/>	バリアフリー化は子供の発育の妨げになると考えているため為、あえてしていない。
業務改善	④	事務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			誰でも職務改善に繋がる意見が言いやすい環境作りを心掛けている。月に一度全体ミーティングを実施している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			年に一度保護者へアンケートを実施し、改善へとつなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	第三者による外部評価は受けていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			講演会・勉強会等は職員に告知している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者との面談を行い、ご意見をふまえ個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		アセスメント表はあるが、新たな知識や技術の導入も必要と考えている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			プログラムの立案は常勤職員が行うが、細かな計画は他の職員の意見も取り入れている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		<input type="radio"/>		休日等の支援時間が長い時は、多様なプログラムを組むことが出来ているが、平日は時間が短く固定化していることが多い。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			職員間で話し合いをし計画を立てている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別に活動する時間と、全員で活動する時間を設けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		スタッフノートにその日の大まかな流れ、役割、支援内容について記入をし、各々で確認をしている。

	⑩⑪	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		連絡ノートの記入時に、職員の間で振り返りを行っている。また、空いた時間で話をしたり、気になった事をスタッフノートに記入、後日のミーティングで話し合うようにしている。
	⑫	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		課題・声掛け・反応・考察と子供の様子を記録し、全員で共有することで次回の支援につなげている。
	⑬	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的にモニタリングを行っており、達成度合いによって、継続、修正、終了の判断をしている。
	⑭	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		できるだけ組み合わせるようにはしている。
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		児童発達支援管理責任者、児童指導員等担当者会議に相応しい者が出席している。
	⑯	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		送迎時に学校での一日の様子を聞くようにしている。また、緊急での連絡がある際には電話でやり取りをしている。
	⑰	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は医療ケアの必要な利用者はいないが、必要になった際は担当医との連絡をするようにしている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前に通われていた園と連絡を取り、様子などを聞いたり、現在の様子から、以前の対応について伺うようにしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		提供はしているが、課題として、より整理し纏めたものを提供していく必要があると感じる。
	⑳	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		直接の助言・研修は受けていないが、保護者との連携を取り、間接的に助言は受け入れている。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		交流できていない。今現在、時間も人員も不足しており、交流する機会を作ることは難しい
	㉒	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		地域部会からお知らせがあれば、出来るだけ参加するようにしている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		連絡帳や送迎時、LINE、定期的なモニタリングなど、保護者と連絡を取り合い情報共有している。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングの研修や情報は、保護者に告知している。主に送迎時に対応方法などをお伝えしているが、実際に話し合う時間を設けるなど、改善する余地はあると思う。
	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		利用登録時に直接説明をしている。

保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳、送迎時、LINE、モニタリングの時に、保護者と話し合い助言と支援を行っている。
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	時々ではあるが、保護者を対象とした活動をし、保護者からも好評を得る事ができた。今後もいくつか計画中。機会が少ないので、もう少し出来れば良いと思う。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった場合は、職員全員で話し合い対応するようにしている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月決まった時期に会報は発行しており、保護者との情報共有を図っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報については十分注意をし、職員にも都度周知している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮しているか	○		職員の間で児童の対応や、保護者との意思疎通や情報伝達について、話し合うようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域住民との挨拶や、行事で作成したモノを配ったりするが、行事に招待するまでには至っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルは作成及び掲示している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		災害時の避難訓練は実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		一部の職員が研修に参加し、そこで得た情報を、他の職員にミーティング等で伝えている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束が必要な児童が居ない事もあり、計画に記載するまでには至っていないが、その場合は、保護者と話し合い、計画に記載することになっている。また、ミーティング等でスタッフに身体拘束についての指導を定期的に行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在対応が必要な子はいないが、必要になった場合は指示書に基づく対応をする。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○		報告書は作成しており、職員が目を通すことができるようにしてある。